

原市場聖書教会

NO. 969

週 報

年間聖句

15, 私たちはイエスを通して、賛美のいけにえ、御名をたたえる唇の果実を、絶えず神にささげようではありませんか。

16, 善を行うことと、分かち合うことを忘れてはいけません。そのようにいけにえを、神は喜ばれるのです。

ヘブル 13章 15～16節



2023. 10. 29

主日礼拝

2023年10月29日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 献金：本多守兄
受付：若村めぐみ姉

ワーシップ賛美	「満たして下さる方」	—	同
祈り		司会者	
ワーシップ賛美	「聖い心」	—	同
使徒信条		—	同
主の祈り		—	同
賛美	聖歌338番「いともよきものを」	—	同
献金		—	同
感謝の祈り		本多守兄	
聖書朗読	マタイ23章13節～22節	司会者	
説教	「天の御国を閉ざすもの」	若村和仁師	
黙祷		—	同
賛美	聖歌539番「見ゆるところによらず」	—	同
頌栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝祷		若村和仁師	
後奏		奏楽者	
報告		司会者	



●コロナウィルス感染が落ち着くまで
昼食会はお休みいたします。



「天の御国を閉ざすもの」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

マタイ23章13節～22節

13, わざわいだ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは人々の前で天の御国を閉ざしている。おまえたち自身も入らず、入ろうとしている人々も入らせない。

14, ※異本に十四節として以下を加えるものもある。〔わざわいだ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちはやもめの家を食いつぶし、見栄のために長い祈りをしている。だから、おまえたちは人一倍ひどい罰を受けるのだ。〕

15, わざわいだ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは一人の改宗者を得るのに海と陸を巡り歩く。そして改宗者ができると、その人を自分より倍も悪いゲヘナの子にするのだ。

16, わざわいだ、目の見えない案内人たち。おまえたちは言っている。『だれでも神殿にかけて誓うのであれば、何の義務もない。しかし、神殿の黄金にかけて誓うのであれば、果たす義務がある。』

17, 愚かで目の見えない者たち。黄金と、その黄金を聖なるものにする神殿と、どちらが重要なのか。

18, また、おまえたちは言っている。『だれでも祭壇にかけて誓うのであれば、何の義務もない。しかし、祭壇の上のささげ物にかけて誓うのであれば、果たす義務がある。』

19, 目の見えない者たち。ささげ物と、そのささげ物を聖なるものにする祭壇と、どちらが重要なのか。

20, 祭壇にかけて誓う者は、祭壇とその上にあるすべてのものにかけて誓っているのだ。

21, また、神殿にかけて誓う者は、神殿とそこに住まわれる方にかけて誓っているのだ。

22, 天にかけて誓う者は、神の御座とそこに座しておられる方にかけて誓っているのだ。

今週のワーシップ賛美 満たして下さい方

作詞・作曲 北村聖慈

F Am/E Dm7 F/C B \flat Am7 Gm7 B \flat /C C7

主よ わたしは う え か わ い て い ま こ こ に き ま した 主

F Am/E Dm7 F/C B \flat Am7 Gm7 B \flat /C C7

よ あ な た に り よ う て あ げ て こ こ ろ か ら あ が め ま す

F Am/E Dm7 F/C B \flat F/A Gm7 B \flat /C C7

主よ あ な た だ け が わ た し を 満 た し て く だ さ る か た

F A/E Dm7 Cm7 F7 B \flat B \flat /C F

主よ あ な た だ け に さ ん び の う た を さ さ げ ま す

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしくよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。

アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいただいたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり

アーメン

御言葉紹介

★ 2023年10月25日御言葉

ペテロの手紙 第一 4章8～10節

8, 何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。

9, 不平を言わないで、互いにもてなし合いなさい。

10, それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会引用。

● イエスキリストは行動をもって神の愛を示され、言葉をもって神の愛を語られ、愛を受け入れる人々の罪の身代わりとなり、魂に救いを与えて下さいました。

その神の愛の現れであるイエスキリストを信じる信仰によって神の民だけが救いへ導かれるのではなく自分自身の罪を素直に認め、悔い改め、神の愛を信じる者であれば、すべての人が救いへ導かれ、教会に集まっていたのです。ですから、初代の教会には神の民とされてきたユダヤ人だけではなく、異邦人の中からもイエスキリストの愛に触れ信仰によって救われた人々がいたのです。

ですから、様々な文化を持った民族が共に教会に集まっていました。そうすると、もともとの文化の違いがきっかけで、トラブルも多く起こっていたのです。文化の違いがある中でも、助け合って生きていくためには、互いを尊重し互いの文化の違いをまず受け入れなければスタートしないものです。人間が共に生きていく時どうしても、育った文化の違いで問題が起こってしまいます。日本でも関西と関東で大きく文化が違います。互いに良かれと思って行動しても、文化の違いにより真逆に意味をとらえられてしまうことすらあるのです。そのようなそれぞれの個性や文化の違いを活かしあうためには、相手を自分の思い通りの人に変えようとするのではなく、互いに熱心に相手を知らうとすること、大切にすることが大切なのです。

互いに不平不満ばかりを指摘して攻撃し合うのであれば、多くの罪が外側に現れてきてしまうのです。しかし、「互いに熱心に愛し合う（大切にしあう）」なら、多くの罪をおおう。とあるのです。不思議ですが、すぐに罪の問題は解決できなかったとしても、人は愛され大切にされることによって、多くの罪をおおう。と聖書は語っています。これは、人は愛され大切にされてこそ、多くの罪を抑制することになるのです。しかし、人は、攻撃されれば、やり返したくなる思いが生じてしまい、更なる罪を犯してしまう危険があるのです。現代も世界で起こる多くの戦争は、それぞれの思いに対して、聞く耳を持たず、武力に走り、多くの尊い命を奪ってしまうという問題になってしまうのです・・・。ですから、互いに尊重し合い、お互いを大切に愛をもってかかわらなければ、多くの罪が生まれてきてしまうのです。そして、大切にされたかった傷つけられたから傷つけ返すという負の連鎖が起こってしまうのです・・・。

私たち互いの人間関係をよくするためには、まずは、神を第一に求め、神の愛を素直に信じ受け入れ、大切にされ赦されていることを経験することから始まるのです。しかし、私たち人間は弱さがあり、自分中心になりがちで、隣人を心から熱心に大切にすることはなかなか難しい時があるのです。

ですから、それぞれ神様に目を向け、神からの恵みと愛を数え、味わい、信じて、その神の愛に愛され赦された者として、隣人を愛していく者に帰られていく者でありたいのです。そこがとても大切なところなのです。

そうするならば、神の愛とあわれみによって、様々な神の恵みの良い管理者として成長させられ続けるのではないのでしょうか!? 日々神の愛をもって互いに愛し合い、赦し合い、相手を傷つける言葉を避けて、互いに神の愛をもって大切にしていることが伝わる言葉を用いる者でありたいです。では、今日も一日それぞれの歩みが守られるようお祈りしています。

原市場聖書教会

若村和仁

報 告

★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

●本日も礼拝後自家焙煎コーヒーをご用意しています。お時間のある方お変わり下さい。

★原市場聖書教会での礼拝は以下の個人の感染防止対策にご協力お願いいたします。

1, 発熱等の症状がある場合は、無理をせず Zoom をご利用下さい。

2 マスクの着用については個人の判断を基本といたします。

体調がすぐれないと感じられた際は着用をご検討ください。

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・10月31日～11月2日（火～木） NPO 法人あまやどり （場所：高麗聖書）
- ・11月2日（木） hi-b.a. 川越集会 （場所：ウエスタ川越）

本日午後の予定

☆自家焙煎珈琲タイム

次週礼拝（11月5日〈日〉）

司 会：本多崇兄 聖餐式司式：若村和仁師

聖 書：マタイ23章23節～39節

説 教：「キリストを受け入れてこそ知る神の愛」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：ワーシップ讃美「いのちの光」「傷跡」

聖歌195、聖歌472、教会福音讃美歌259、聖歌383

受 付：若村めぐみ姉 献金感謝祈祷：渡辺愛秀兄

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
10月22日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	6人			
	礼 拝	6+0人	6+2人	8+3人	25(20+5)人
		(※各集会「対面+オンライン」表記となります。)			
	夕 礼 拝		希望者がおられませんでした。		
10月25日(水)	祈 り 会		1人	3人	4人

集会案内

10月30日(月)	市民クリスマス ^o スペルワーク-練習会	10:30～12:00
11月1日(水)	祈 り 会	10:30～12:00
11月5日(日)	ハレルヤキッズ	09:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

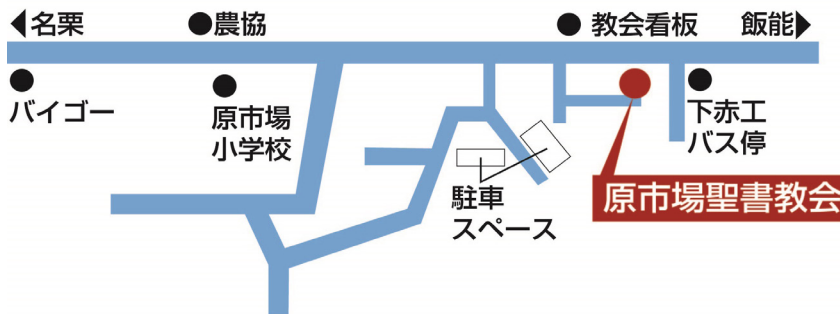
「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♯ ややはやく ♩ = 104

ちち・みこ・み たまの おおみかみにーとこしえか
わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁